

近鉄21020系 アーバンライナー-next

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気場で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ツッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

「お買い上げのお客様へ」不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎ 277-8511 ☎ 04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎ 531-0072 ☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時

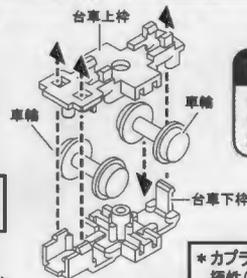
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下都賀郡壬生町おもちまのまち5-4-67 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- *車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所ツメを、台車上枠に通します。
- *前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

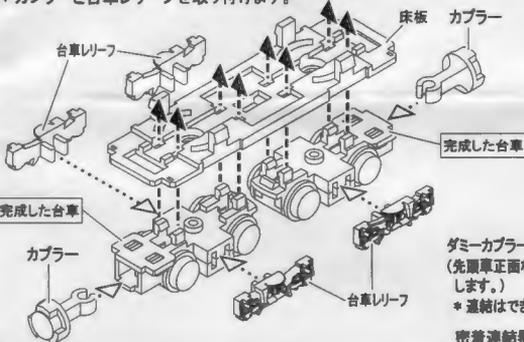


向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>

- *出来上がった台車の4箇所ツメを床板に通します。
- *カプラーと台車レリーフを取り付けます。



*カプラーのマグネットには
磁性(S・N)があります。
編成を組むときは、向きに
気をつけてください。

台車レリーフの向きに注意。



ダミーカプラー
(先頭車正面などに使用
します。)
*連結はできません。

密着連結器
(JR電車用)

自動連結器
(他車・気動車用)

ドローバー
(2両を固定連結する場
合に使用します。)

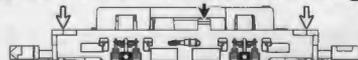
Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*トレインショーティーは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティー専用・動力ユニット①」機関車用」を使用します。



*床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振りが充分にできません。重連運転や、短小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティー専用・動力ユニット②」電車・気動車用」を使用します。



*左右4箇所の爪で、車体と固定します。
*ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「トレインショーティー専用・走行台車①」を使用します。

- *台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- *旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- *台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- *スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー一部分を切り取ってから装着してください。
- *新幹線など車体側にカプラーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- *各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- *動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- *線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- *Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- *動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

*EF640、DF50、DD53など、車体裾の低い車両には装着できません。

*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラホ片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

*KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(取組によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

このほか、割ピン取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401 PS14:直造/パンタグラフ

KATO:11-403 PS22:直造/下枠変形パンタグラフ

KATO:11-404, 11-420 PS16:直造/パンタグラフ

*11-420は、直造が4箇所の屋根に対応します。

グリーンマックス:80-2:PS13:直造/パンタグラフ

グリーンマックス:80-3:PT42:直造/パンタグラフ

グリーンマックス:80-5:PT43:直造/パンタグラフ

クロスポイント:PT71C:シングルアーム/パンタグラフ

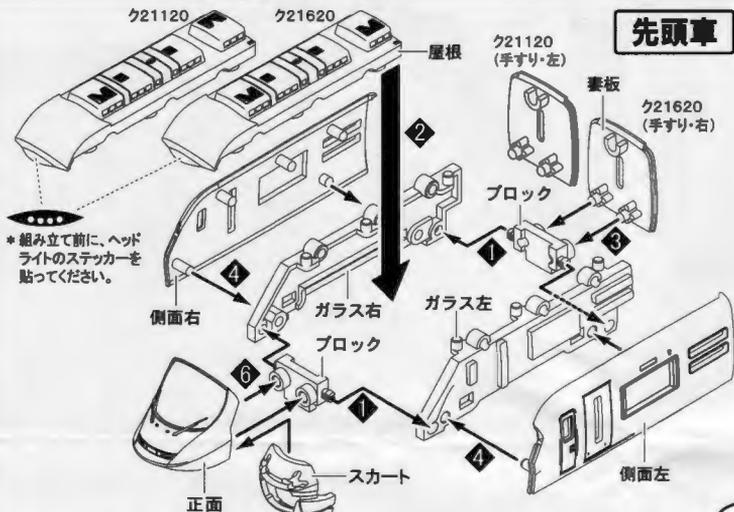
このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



通勤電車①コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など

急行電車①空気バネ台車タイプ DT32タイプ 185系、146系など

通勤電車②ポルスタレス台車タイプ DT81タイプ E231系など

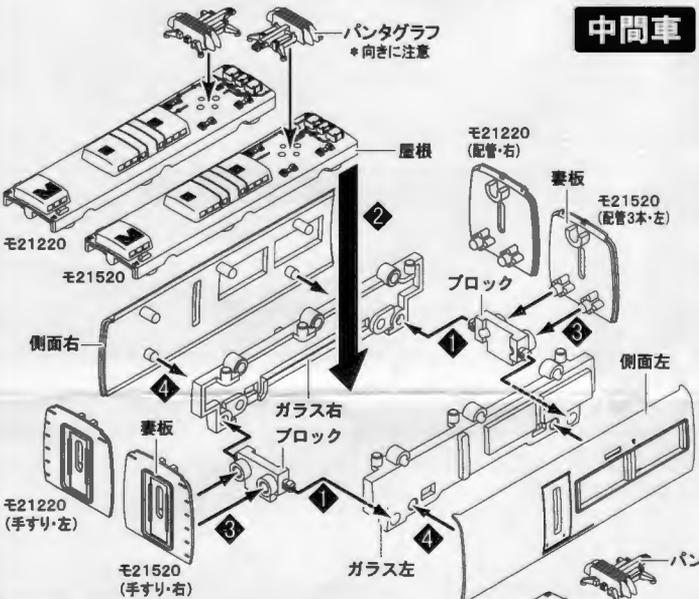


先頭車

車体の組立て

- 左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- 屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- 妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- 左右の側面を取り付けます。
- シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)
- 先頭車は前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)

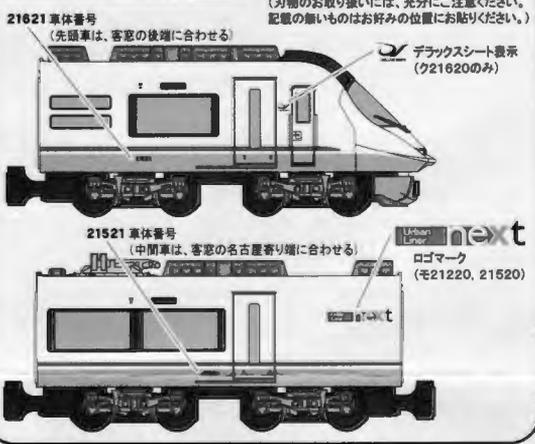
*取り付け部が凹い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。



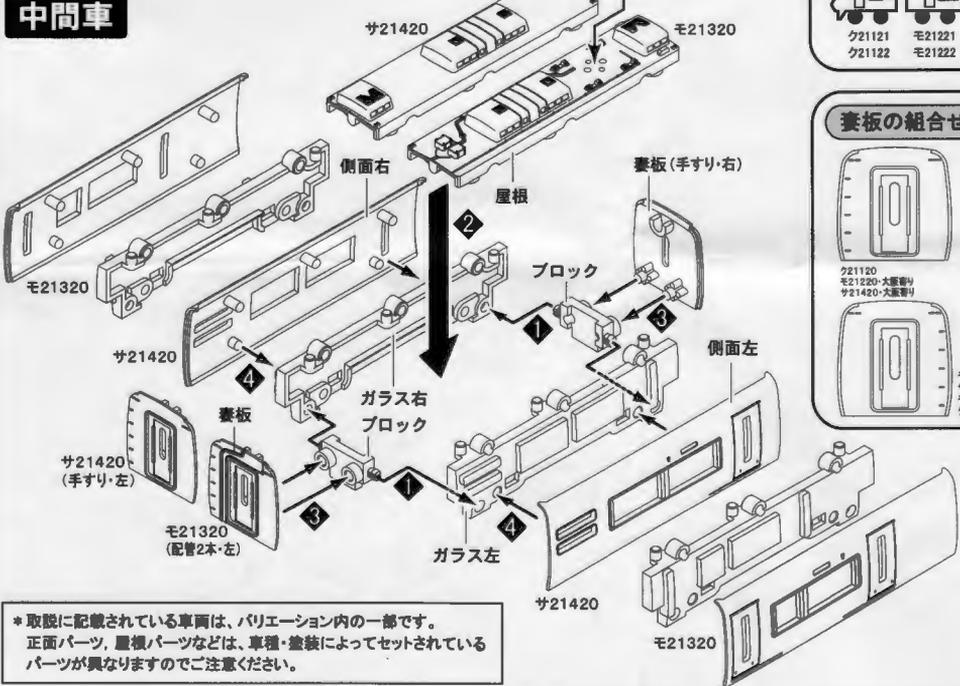
中間車

ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙から好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。)
記号の無いものはお好みのお位置にお貼りください。



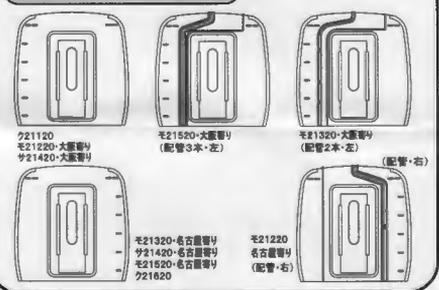
中間車



実車の編成例



妻板の組合せについて



*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。
正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

動力ユニットの取り付けについて

Bトレインショーティーは、動力ユニット(別売り)を取り付けることで、Nゲージ線路で走行させることができます。

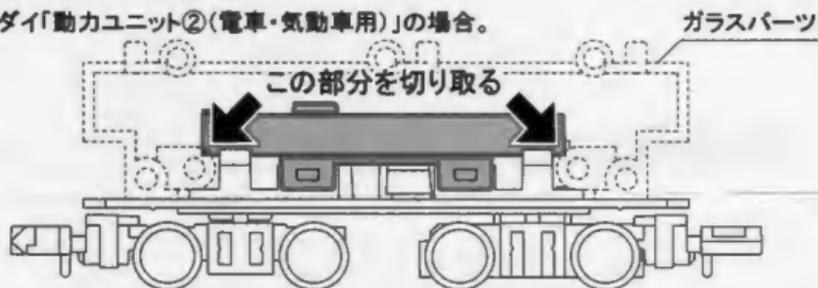
- * 線路、コントローラー等は、Nゲージ各社のものが使用できます。
- * トレーラーとなる車両には、「走行台車(別売り)」を装着してください。

<動力ユニット装着する場合>

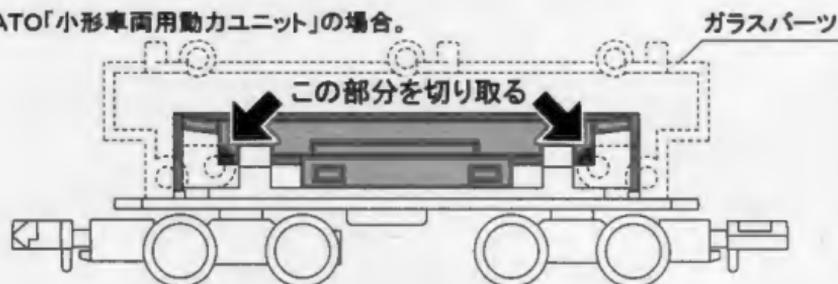
* 近鉄21020系は、扉窓の位置関係により側面とガラスを固定するピンの位置をやや内側に寄せています。そのため動力ユニットの取り付けには加工が必要です。

- ①「動力ユニットのカバー部分」を少し切り取ってください。
(下の図に示す箇所を、ガラスパーツに合わせて削り取ります。)

バンダイ「動力ユニット②(電車・気動車用)」の場合。



KATO「小形車両用動力ユニット」の場合。



- ② 取り付ける車両の、屋根と片方の側面+ガラスを一旦外します。
- ③ ブロックパーツの位置に注意しながら、動力ユニットの爪とガラスの穴を正しくセットします。
- ④ 外した側面+ガラスを取り付けて固定します。
最後に屋根を取り付けます。
(動力ユニットは、中間車にセットしてください。)

ヘッドライト(屋根パーツに貼ります)

車体番号



デラックスシート(21020用)



ロゴマーク(21220, 21520)

